

「秘密保護法を考える市民の会」としての今後の活動についての提案

自民党支持者、保守的な人脈含め、法に不安をもつ人は70.8%であり、安倍の無茶を訴えて、法の廃止に向けた市民運動を盛り上げたいと思います。

社会問題に全く関心がない人たちにも手軽に渡せるソフトなチラシがあると助かります。

- ・すでにあるかもしれないが、ブログ等を立ち上げ、情報提供←レジュメに書いてありました。失礼しました。
- ・「出前のお店」のようなミニ集会への講師派遣
- ・各地での行動の集約・発信

公明党(創価学会)へのアプローチを検討すべき

皆さんの意見は打倒自民党ですが、今回の行動は公明党も非常に悪かったと思います。反自民だけでなく必ず、反「自民・公明」とすべきです。今後の出方で、みんなの党、維新の会も同罪です。

マルチイシューを進めるべき。
多様な運動を結び付けるのは大事だと思う。

- ・市民側からの「パブリックコメント」を募集して、市民の国を集め国へ提出する⇒メディア、議員へその結果を伝える(記者会見等)
- ・議員へのアンケート⇒右傾化に対する踏み絵となるアンケート。次回選挙の評価基準として利用。

これからやる全国の地方選、すべてみんなに知らせて自民・公明・維新・反対しなかったみんなの党の人の一派？をことごとく落とす。

- ・Netメンバーの会合をしてほしい(効果的にネット配信がやりたい)。
- ・原発反対の地方組織とつながることかな？
- ・地方とどうつながるかということを考える。
- ・無関心層をどうとらえるか？ということ

- ・仲間の外へ、霞が関の外へ、PR⇒若い世代、大学生、どうする？
(例)政党の車を借りて市内巡回、立会演説
- ・賛成した議員・政党の落選運動
- ・全国ネットワークを作ってください。
- ・読売、産経の不買運動もいいですね(日経は秘密保護法に反対しています)
- ・想定問答集はGoodIdea、フラッシュモブもいい

多くの運動とつながること。特に反原発と。目標は安倍打倒で。

公明党、創価学会へのデモ。
都知事選になるような場合は、秘密保護法を争点にする。

- ・もっと具体的な運動の提起が必要。
- ・NHKの支配をねらっている安倍政権に対しては不払い運動しかない。
- もっと不買運動などアメリカやヨーロッパの市民の闘いに学んで運動することも必要ではないか。
- ・特定の日(たとえば06行動)で全国一斉に駅頭街宣やビラまき、デモなどの行動提起をすることも考えてほしい。

発言させていただきました

- ・今までの活動に加えて今日の内容を加えて行う。
- ・シールアンケートで安倍首相の支持をアンケートしてほしい(マスコミの調査は盛っていると思われる)

- ・連合をつくりたい(反原発、反TPP、9条、連携できるように)
- ・ブログとツイッターを！
- ・「廃止を求める会」「考える会」デモ集会を！

- ・不買運動
- ・NHK受信料不払い⇒安倍のお友達がNHK会長になる？のですよね

いろいろなデモや活動の案内が一元化？一極集中されていると、より集客力が高くなるかと思いました。

「秘密保護法を考える市民の会」としての今後の活動についての提案

・考える市民の会もいくつかのグループが集まっているが、全国的にみて、それぞれバラバラにやっている多数のグループがある。これは戦力の無駄。どこかが中立的に情報交換の場を作らなければならない。
・参議院の委員会での採決の不備を告訴するもの、法自体を違憲であると告訴するもの、議員にロビーする、地方で議員にロビーする、国会周辺で声をあげる、無数にある駅前広場で無関心層に訴える・・・その他できる作戦はすべてやる。手分けしてやる。それをマスコミに伝えさせる。そうした多くの活動のキーになるグループが必要。
・これら以外にも無数の効果的戦略はある・・・お互いの情報交換が必要

・月一のデモ。たとえば「6日」デモなど。毎月6日デモをする⇒忘れさせないため
・わかりやすい本を出版する
・落選運動はとても大切。どうやるか
・落選運動はとても大切。どうやるか。一般的に受け入れ易い方法を。たとえば「シール投票」「あなたは賛成の議員に次に投票しますか？」
・「STOP秘密保護法」などのバッチを作る
・各地域、地元で「秘密保護法」に関する会を作り、地元議員や県政市議会の議員にPush！

活動に参加する敷居を下げる工夫があるとよいと思います。(具体的な提案ができなくてすみません)。
まずは情報を得やすくすることが必要だと思います。

・「知る権利」「第三者機関」などの細かいことではなく、違憲だということを大きな柱にすべきだと考えます。
・反対するコンセプトをわかりやすくアピール。
・学者、宗教者、文化人などの反対表明する団体とのつながりを持ち、一緒に行動する。
・一番の無関心層はおそらく「サラリーマン」です。彼らをどう動かすかが重要な課題だと思います。

全国的なつながりを組織してください。

とにかく伝わりにくい法の話。言いやすく聞きやすいキャッチフレーズが必要、ほしい。

今後、様々考えていきます。

軽減税率の項目の中に新聞を除く署名活動！やりたいです。

若者の知恵やアイデアを積極収集、積極利用！

小泉案は賛成しません。利用するくらいの気持ちならまだしも、こちらの力にはならないと思います。

・学習会
・デモ
・市民の会立ち上げが必要です。
・署名の呼びかけ人も必要です。

・自民党を割らなければ、又押し切られる。小泉と脱原発の橋渡しをすべき
・米国西海岸にフクシマの影響が強くなることを西海岸の住民に伝えよう

・情報量が少なくアクセスをどこにしたらよいかわからないのと、管理してできるだけ載せてください。
・国民の方々への周知もまだ足りないと思いますので、街頭演説、びらまきをしたらよいと思います。

・サイトの立ち上げ⇒分離した情報、分離した意見、別々の集まりの意見＝集約化する。

毎週の抗議デモと月1の大きなデモの開催など、注目を常に集められるように活動していくのはどうか。

・国会議員の不正を調査・追及し、早く辞めさせる。
・証券取引法(インサイダー取引)・選挙法・政治資金法の違反を調べる。
・地方選で戦う。
・メール、HP、ブログへの通信妨害を発見したら、発表して「法案先取り」(違法)、「憲法違反」(通信の秘密・思想・宗教の自由)が侵されている。多くの人に知らせる。
・この会のHP、ブログに各種の反対運動予定表を掲載し、各地で個人参加を容易にする。

シール投票もよかったです。投票に全く無関心で参加しない若い人に興味をもっていただくアクションで広がる必要があると思います。

繁華街でのフラッシュモブやるのはどうでしょうか？参加したことがありますが、インパクトあります。

「秘密保護法を考える市民の会」としての今後の活動についての提案

- ・国会(日本の政府の中心)周辺でのデモ活動を継続⇒日本中へ配信(ツイキャス、フリージャーナリスト、Facebook、Twitter、口コミ等)し続ける。
- ・地方の人々に活動も取り上げシェアしたり広める⇒日本中でつながっていることを共有する・・・個々に孤立させられないため!
- ・月一の割合で、5~10万人規模のデモをする!
- ・地方選挙のため、地方議員と会い応援し続ける。

休むことなく続けること!
個人的に、いつでも、どこでも、一人デモ、デモ、実行中~!

具体的提案ではありませんが、安倍政権に対しては、世論調査でもわかるように確実に世論が批判的になりつつあります。これから国会安全保障基本法、集団的自衛権、などなど、次々に出てきますが、運動が激しく追及していけば、確実に安倍政権を追い詰めることができると思います。さらに、4月から消費税が加わり、景気が悪くなると思います。アベノミクスの幻想に惑わされている人々も安倍政権から離反していくと思われ、秘密保護法の廃止のチャンスも大きくなると思います。自信を持って、継続してやっていきましょう。

(できることはやっていきますが、疲れて倒れないようにいたしましょう)
・NHKへの働きかけ
・公明党指示母体、友人間の働きかけ(彼らは事実を知らないので、優しく教えてあげましょう)
・みんなでバキーを押して国会議員へ

東京に来られない地方の人たちとの連帯を強めて、各地元で運動を起こすようにしてゆきたい。

会は真面目な活動(国会のロビー活動や傍聴)なので、それはそれとして素晴らしいのですが、私は三宅洋平のトークイベントに3回参加して、参加者が踊りだす(私も)雰囲気を感じているので、時々楽しい活動(音楽、トーク、歌等)をやっている人々と共催できたら大衆化につながるのではないかと思います。彼らは逆に真面目な活動の状況を伝えることができるチャンスがあります。10月に「三宅洋平のトークイベント」の時、秘密保護法についての質問がありましたが、彼は「通るだろうが僕はそれに従うことはしない。僕たちが主人なのだから・・・」と意外と涼しい回答だった。彼の若者や大衆に訴えかける「ポエムリーディング」の手法が素晴らしいのですから。

小泉をかつぐのはダメです。その時点で次回の選挙は勝てなくなります。彼は自民党の首相だった人間です。脱原発を言う前に、謝罪をさせなければならない存在です。今の日本に必要なのは、市民に寄り添うリベラルのリーダー。そこは絶対にぶれないでください。

私は大学の授業内でジャーナリストさんの話を聞いて、初めてこの法案が非常に危険なものであるということを知りました。でも以前までの私のように、最近の若者はこの問題に対して無関心であり、また抗議デモをする人々を「攻撃的な人々」「異常な人々」などというイメージを持っていたりもします。でも、私はジャーナリストさんの魂からの訴えてくるような熱弁を見て、本当に心を動かされました。だからひたすら地道に全身全霊で抗議活動をすることで、若者の心を動かすことができ、この問題を、一部の人々で解決を目指すのではなく、国民全体で連帯して問題に取り組んでいけるのではないかと思います。